

# 毎日を安全に過ごすために こんなとき、あなたはどうしますか？

～普段から気をつけておきたいこと～

年 組 名前 \_\_\_\_\_

## 1 知らない人から声をかけられたら…

Q：友達と待ち合わせをしている時に、知らない人に声をかけられました。あなたの名前も知っている人でした。無視をしてもしつこく「遊びに行こう」と誘われました。

① あなたはどのようにして誘いを断りますか？

② それでもしつこく声をかけてきます。どうしたらいいでしょうか？

## 2 外出するときに…

Q：友達との約束で、外出しようとしたのですが、家には誰もいません。

① 外出する前に、どのような注意点がありますか？

② 家の人にメモで外出を伝えようと思います。どのようなことを書いておくとよいでしょうか？

## 3 車の中から声をかけられたら…

Q：あなたが一人で歩いていると、知らない人が車の中から「(あなたの) 中学校への道を教えて」と声をかけてきました。見たところ優しそうな人です。「車に乗って一緒に案内してほしい」と言われました。

① まずあなたがとった方がよい行動は何ですか？

② しつこく声をかけてきた場合、どのようにして逃げたらいいと思いますか？

## 4 外出先からの帰宅が遅くなったら…

Q：帰宅が予定よりも遅くなりました。帰り道、近道をすれば早く帰れますが、暗く人通りの少ない場所があります。

① 危険な場面に遭遇しないためにどのような注意が必要ですか？

## 5 携帯電話・スマホに連絡が入ったら…

Q：無料通話アプリなどのやりとりで知り合った人の求めに応じて、気軽に自分の顔写真など個人情報を送ってしまいました。その後、その相手から「直接会いませんか？」というメッセージが届きました。

① 顔写真や個人情報を送る危険性とは何でしょうか？

② 「会いませんか？」のメッセージに、何と答えるとよいでしょうか？

## もう一度、確かめましょう！

### 1 被害に遭いそうになったら…

まずはできるだけ早く大人（保護者・先生・警察）へ知らせましょう。たとえ今日は被害に遭わなかったとしても、別の日に同じような手口で被害に遭ってしまうこともあります。

### 2 名前を呼ばれても…

自分の名前や、家のことを知っていても、知らない人であれば注意が必要です。事前にあなたの名前や日常の行動を調べているかも知れません。「家の人が緊急で病院に運ばれた。すぐに病院へ行こう。」などと正常な判断ができにくいようなことを言うてくることもあります。

### 3 車の中から声をかけられたら…

車からの声かけは、まずその車に近づかないことが重要です。ドアがスライドして開く車では、車内に簡単に引き込まれる危険もあります。歩道のない道を歩く場合は、特に注意が必要です。

### 4 暗くなってから一人になったら…

友達と遊んだ帰りでも、家の近くではほとんどの人が一人になります。不審者はその瞬間を狙っています。近道だからと言って、暗く人通りの少ない道を選ばず、たとえ遠回りでも、明るく人通りのある道を通りましょう。また、家の人に伝えていた時間より遅くなってしまった場合は、「今、〇〇にいる」「あと、〇分くらいで帰る」など連絡を入れておくことも大切です。

### 5 携帯電話・スマホに連絡が入ったら…

SNS 等を通しての被害は相変わらず起こっています。携帯電話やスマートホンは、大変便利な反面、使い方によっては、大変危険なことがあることがあります。一度流れた情報は、完全に消すのはとても難しいことですので、個人を特定できるような情報は、求められても絶対に送信してはいけません。

### 6 こども 110 番 青少年を守る店・守る家の場所を知っていますか？

校区内にある、「こども 110 番 青少年を守る店・守る家」について、場所を確認しておきましょう。

#### 《声かけ事案例 ①》

文化祭の準備が遅くまでかかり、少し暗くなりかけていました。解散後も、文化祭の企画のことをいろいろ話していたため、気がつけばすっかり辺りは暗くなっていました。私は友人 3 人で一緒に登下校をしています。3 人の中で、私の家は学校から一番遠いので、友達と別れた後はいつも一人になります。

「しゃべりすぎてしまったな…」そう思いながら、少し早足に歩いていると、後ろから原付バイクが近づいてきました。細い道なので、道の端によけようとしたら、原付は止まって「〇〇中学校の生徒さん？」と話しかけてきました。思わず、「はい」と答えると、「〇〇さんの家知ってる？」と、私の友達の名前を言ってきました。とっさに「知りません」と答え、走り出しましたが、原付でしつこくついてきて「ねえねえ」と話しかけてきます。

#### 《声かけ事案例 ②》

駅前前で友達と待ち合わせをしていた僕に、突然車から降りてきた男の人が「すみません、実は一緒にいる友人が、突然おなかが痛いと言い出して苦しんでいるので、近くの病院を教えてほしいんだけど」と声をかけてきました。「わかりません…」そう言って相手にせずにいると、男の人は僕の前に立ち、「この辺りのことよく知らないから、一緒に探してよ」といい、車のほうに背中を押してきました。あわてて逃げようとする、「早く助けてあげたいから、力を貸して」と、男の人が僕の腕をつかみ、車に連れ込もうとしました。

## 学習のまとめ

( 月 日 )